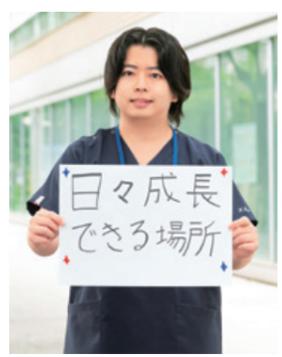


Messages from Residents



Access

- J R 中央・総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分
- 地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅下車(A1番出口)、徒歩約5分
丸の内線「四谷三丁目」駅下車(1番出口)、徒歩約15分
- バス 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車(0番出口)、徒歩約15分
新宿駅西口・品川駅高輪口(品97)「信濃町駅前(慶應病院前)」下車
早大正門・渋谷駅東口(早81)「四谷第六小学校入口」下車



慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel.03-5363-3249
Fax.03-5363-3485
<http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/>
e-mail:med-srk-center@adst.keio.ac.jp



Keio University Hospital



慶應義塾大学病院 初期臨床研修プログラム 2024

心・技・知を培い
絆を育むために



慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療を行います

先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します

人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

慶應義塾大学病院

臨床研修修了

コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム

II. 医学知識

III. 診療の実践

IV. コミュニケーション

V. 医療・福祉への貢献

VI. 科学的探究

VII. 国際医療人としての資質

VIII. 医療安全と医療の質

IX. チーム医療

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を目指そう

プログラム総責任者 病院長 松本 守雄

慶應義塾大学病院（慶應病院）は約10年かけて行ってきた新病院棟の建設事業を完了させ、新しいエントランスと外構を整備し、2022年5月16日にグランドオープンいたしました。患者の方々により質の高い、安全な医療を提供するとともに、次の時代を担う医療人を育成する新しい舞台が整いました。

慶應病院は1920年に北里柴三郎博士を初代病院長として開院いたしました。北里博士は「各科の分立を防ぎ、基礎医学と臨床医学の連携を緊密にし、学内は融合して一家族の如く、全員で医学の研鑽に努める」ことを方針に掲げました。その後、100年にわたり北里博士の精神を脈々と受け継ぎ、今では国内外からも高く評価される病院となりました。現在、慶應病院では31の診療科が互いの垣根を無くし、すべての職種が協力して患者の方々により質の高いチーム医療を提供しています。

慶應病院は特定機能病院として主に高度急性期医療を担っており、がん、免疫、神経、小児周産期、感覚器、運動器など様々な領域の医療を提供するとともに、がんゲノム医療や内閣府によるAIホスピタルモデル病院として先端的な医療にもとり組んでいます。救急患者の受け入れを積極的に行い、地

域の救急診療体制に貢献するとともに、手術や集中治療などの体制を強化し、新型コロナウイルス感染症への対応もしっかりと行いながら大学病院としての高度な医療の提供を目指しています。さらに数多くの関連病院や医療連携協力機関とともに地域医療にも貢献しています。

病院理念に「豊かな人間性と深い知性を有する医療人の育成」を掲げており、初期臨床研修医の教育には特に力を入れています。慶應病院はもとより、関連病院、連携医療機関にも教育熱心な指導医が数多く在籍し、チームの一員となった研修医の皆さんに対し親身になって指導に当たってくれています。研修プログラムを通じて医師としての基本的な知識、態度、考え方、医療技術を身につけるだけでなく、将来のキャリアパスにも道を開き、希望に応じて慶應関連の豊富な専攻医プログラムに進む機会にもつながります。

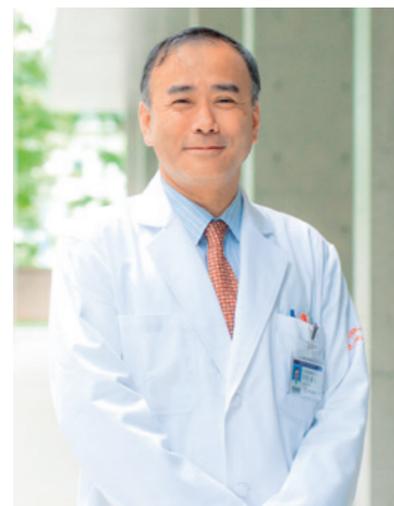
病院理念には「患者さんに優しく、患者さんに信頼される、患者さん中心の医療を行う」ことも掲げています。患者の方々やそのご家族の立場やお気持ちを考えた優しい診療を常に心がけ、医療者と患者・ご家族との間に信頼関係を築き、あらゆる職種で構成される医療チームの中心に患者の方々



を置き、最善の医療を提供することを目指します。是非、研修医の皆さんにそのチームに加わっていただき、患者に優しく、信頼される医療人を目指して貰えることを願っています。

新病院で、百年の伝統を継承し、熱意ある仲間とともに「明日の医学・医療を担う医師」を目指しましょう！！

卒後臨床研修センター長 平形 道人



当院の研修理念は、**心 (Humanity)**：患者さんに寄り添い、その思いを理解し、患者さんから信頼される、**豊かな人間性**）、**技 (Art)**：質の高い、**全人的で安全な医療を実践する臨床能力**）、**知 (Physician Scientist)**：科学的思考力と深い知性）、をバランスよく兼ね備えた医師を育成することにあります。そして、この理念に基づいて、到達目標である『臨床研修修了コンピテンシー：① プロフェッショナリズム、② 医学知識、③ 診療の実践、④ コミュニケーション、⑤ 医療・福祉への貢献、⑥ 科学的探究、⑦ 国際医療人としての資質、⑧ 医療安全と医療の質、⑨ チーム医療』を定めました。

当院は、1920年の開設以来、わが国でも有数の優れた診療実績（症例数、治療成績など）を誇り、これらは初期研修で経験できる臨床症例数の豊富さと患者さんからの信頼につながっています。将来、専門としたい診療科を重点的に選択することも、総合的診療能力を修得するために幅広い診療科を選択することもできる柔軟な研修プログラムを設けています。また、世界トップレベルの医療（臨床・研究・教育）水準を誇り、臨床研究中核病院にも認定されています。わが国の各臨床分野をリードする診療・教育責任者（教授など）から、直接のマン・ツー・マン指導にあたる指導医、身近に相談できる直ぐ先輩の専修医・研修医にいたるまで、教育に情熱を持つ指導スタッフに恵まれています。そして、日々の医療現場の中で、エビデンスに基づく診療能力を磨き、様々な患者さんにも対応できる鋭い洞察力と豊かな

な想像力を身につけ、患者さん中心の医療を実践できるように研鑽を積みみます。さらに、充実した指導スタッフと研修環境を持つ多数の協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設と連携し、大学病院とは異なる実践的な地域医療やプライマリ・ケア研修も可能です。

当院は、2018年に「新病院棟」が開設され、2020年病院開設 100年を迎え、21世紀を先導する「グローバルな医療」が展開されています。慶應義塾大学病院の全医療スタッフが、皆さんが、この「世界に冠たる病院」で思う存分に研修し、「明日の医学・医療を担う医師」として活躍できるよう、全力でサポートします！！

CONTENTS

- 1 病院の理念
臨床研修修了コンピテンシー
- 2 病院長メッセージ
卒後臨床研修センター長メッセージ
- 3 地域・大学循環コース
- 4 大学一貫コース
- 5 小児科医育成コース
- 6 産婦人科医育成コース
- 7 基礎研究医コース
- 8 研修医メッセージ
- 9 研修レポート
- 10 教育指導体制
- 11 専修医研修プログラム
- 12 特別座談会
- 13 研修環境・院内施設
- 14 スケジュール・医科研修医募集要項
- 15 歯科・口腔外科プログラム
- 16 歯科・口腔外科研修医募集要項

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

地域 - 大学循環コース

2024年度定員 28名 (予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 協力型臨床研修病院と、慶應義塾大学病院で1年間ずつ研修するコースです。

1年次に協力型臨床研修病院で研修

1年次	内科 (24週)		救急 (12週)	外科・小児・産婦・精神 (1~4診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	麻酔 (4週)	選択 (~40週)

※ローテーションは順不同

○一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○原則、1年次に救急科を研修し、2年次に麻酔科を研修します。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を必ず研修します。○協力型臨床研修病院によっては、1年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

2年次に協力型臨床研修病院で研修

1年次	内科 (24週)		救急(8週)+麻酔(4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	選択 (~40週)	

※ローテーションは順不同

○一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。○原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。○2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を必ず研修します。

○協力型臨床研修病院によっては2年次に研修できる診療科が限定される場合があります。

*当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 01

【研修医からのメッセージ】

初期研修の2年間、市中病院と大学病院の両方で研修してみませんか

皆さんは初期研修の2年間でどのように過ごしたいでしょうか？

自分に合った病院はどこだろう、どこで研修すれば自分の能力を最大限伸ばすことができるだろうと病院選びに迷われている方も多いと思います。数ある研修病院の中からこのパンフレットを手にとってくださった皆さんに、ここでは当院の地域-大学循環コースの魅力をお伝えしたいと思います。

このコースの魅力は特色の異なる市中病院と大学病院の両方で研修ができることです。医師としての土台を築く重要な期間である初期研修の2年間に、Common Diseaseから稀な疾患まで多くの症例に触れ、様々な経験を積むことができます。

1年目の市中病院では内科や外科、救急科など必

修科を中心にローテーションします。指導医と相談しながら治療方針を決定したり基本的な手技を習得したりと、どの科に進んでも役立つ考え方やスキルを身につけることができます。2年目の大学病院では志望科や関連する科を中心にローテーションし、最先端の研究や治療に携わることができます。カンファレンスや研修医向けのレクチャーも豊富にあり、各分野に精通した先生方から丁寧に指導いただき成長することができます。

研修病院を決めるときにはまず見学に行き、実際に研修医が働いている様子や病院の雰囲気を知ることが大切だと思います。ぜひ1度当院に見学にいらして、雰囲気や環境の素晴らしさを実感してみてください。



2022年度
地域-大学循環コース
横井 健人
(1年目、国家公務員共済組合連合会立川病院
2年目、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

協力型臨床研修病院と大学病院の双方で、バランスのよい臨床研修を！

協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院を1年間ずつ研修するプログラムです。市中病院で豊富なCommon Diseaseの診療経験と手技を、また大学病院で高度先進医療の双方をバランスよく習得することができます。当院は30以上の協力型臨床研修病院を擁しており、それぞれの施設が特徴を生かした魅力的な研修プログラムを提供しています。各病院の研修内容は卒業臨床研修センターのホームページからダウンロード

できます。他の1年間は、慶應義塾大学病院で研修を行います。大学病院での研修を1年目に選択すれば、基本領域をアカデミックな環境で研修でき、また2年目に選択すれば、最大40週を選択研修期間のなかで、将来の進路を考えながら様々な診療科で研修することができます。いずれの研修でも、経験豊富な指導医から最先端の医学知識と手技を学べます。



【プログラム責任者】
卒業臨床研修センター
副センター長
堀 周太郎

TRAINING INSTITUTIONS

2024年度 協力型臨床研修病院一覧と定員

No.	病院名	所在地	地域-大学循環		小児科	No.	病院名	所在地	地域-大学循環		小児科
			1年次	2年次					1年次	2年次	
1	太田総合病院附属太田西ノ内病院	福島県	1	1		18	医療法人財団荻窪病院	東京都	3	3	
2	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院	茨城県	2	0		19	日野市立病院	東京都	1	0	
3	水戸赤十字病院	茨城県	1	0		20	稲城市立病院	東京都	1	1	
4	独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター	栃木県	1	1		21	国家公務員共済組合連合会 立川病院	東京都	3	2	
5	足利赤十字病院	栃木県	2	0	☆	22	横浜州市市民病院	神奈川県	4	1	
6	那須赤十字病院	栃木県	2	0		23	川崎市立川崎病院	神奈川県	4	0	☆
7	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	4	4	☆	24	川崎市立井田病院	神奈川県	2	0	
8	佐野厚生総合病院	栃木県	0	0		25	平塚市市民病院	神奈川県	2	2	☆
9	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	群馬県	0	0		26	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院	神奈川県	1	0	
10	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	埼玉県	0	0	☆	27	神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院	神奈川県	1	0	
11	さいたま市立病院	埼玉県	2	0	☆	28	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院	神奈川県	2	0	
12	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	埼玉県	1	0		29	湘南東部総合病院	神奈川県	0	0	
13	国際医療福祉大学成田病院	千葉県	2	0		30	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	静岡県	1	1	
14	東京大学医学部附属病院	東京都	2	0		31	静岡市立清水病院	静岡県	1	0	☆
15	北里大学北里研究所病院	東京都	1	0		32	静岡赤十字病院	静岡県	1	1	☆
16	公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院	東京都	2	0		33	浜松赤十字病院	静岡県	1	0	
17	公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	東京都	1	1							

☆小児科医教育コースの研修の受け入れ可能施設です。2023年5月現在。上記から変更となる可能性があります。

※協力型臨床研修病院(予定)



14 東京大学医学部附属病院



32 静岡赤十字病院



17 公益財団法人
ライフ・エクステンション
研究所付属永寿総合病院



22 横浜州市市民病院



19 日野市立病院

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

大学一貫コース

2024年度定員 20名(予定)
定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修するコースです。

※ローテーションは順不同

1年次	内科(24週)		救急(8週)+麻酔(4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	選択(~40週)	

- 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。
 - 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
 - 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
- *当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE 02

【研修医からのメッセージ】

最高の環境で将来を見据えた研修生活を送りませんか？

慶應義塾大学病院は最先端の施設、設備であることはもちろんのこと、指導医や医療スタッフ、関連病院数など多岐にわたり全国有数の規模を誇ります。common diseaseから高度な専門性を要する難治疾患までを、各分野で活躍する指導医の先生方の教えを受けながら経験できることは、当院で研修生活を過ごす醍醐味のひとつであると考えます。

私が選択した大学一貫コースは自由選択期間が40週間と長期間設けられており、自分の目標に沿ったオリジナルのプログラムを組むことができます。また発表の機会にも恵まれており、論文の活用法や準備の細部に至るまで丁寧な指導を受けることで、今後の医師生活で必要とされる学術的な面

も成長することができます。私は大学病院というアカデミックな環境で日々最先端の医療を学ぶことができるだけでなく、将来を見据えた柔軟性を兼ね揃えている本コースに魅力を感じ、大学一貫コースを選択しました。

さらに研修医の人数が多いことも当院の研修環境の特徴といえます。様々な背景や目標を持つ同期生や上級生と研修生活を共にすることで、互いに切磋琢磨し時には助け合う、刺激的な生活を送ることができる実感しています。

研修病院を迷われている方は、ぜひ一度見学にいらしてください。慶應義塾大学病院での研修の魅力が存分に伝わると思います。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。



2022年度
大学一貫コース
野村 かりん
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

素晴らしい環境の中、自由度の高いプログラムで将来を見据えた研修ができます

2年間で慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。選択の自由度が高いのが特徴です。慶應義塾大学病院には全ての診療科が揃っています。また、特定機能病院や臨床研究中核病院等に認定されており、指導医は各分野で活躍をされている方ばかりです。そのような環境で各診療科の特徴や将来性をご自身で感じていただきながら、じっくりと初期研修修了後の進路を考えることができます。当プログラムを通じて医学

知識や診療技能の獲得に留まらず、プロフェッショナリズム、コミュニケーション、医療安全やチーム医療への理解を深め実践することで、どこへいっても必要とされる優れた人材になれます。ぜひいらしてください。医師として大切な最初の2年間で慶應義塾大学病院と一緒に学べることを楽しみにお待ちしております。



【プログラム責任者】
卒業臨床研修センター
副センター長
本間 康一郎

TRAINING INSTITUTIONS

2024年度 地域医療研修先病院一覧



病院名	所在地	病院名	所在地
1 江戸川メディック病院	東京都	20 関野小児科内科クリニック	神奈川県
2 新潟県厚生農業協同組合連合会 小千谷総合病院	新潟県	21 医療法人賛永会 さつきホームクリニック	栃木県
3 公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院	群馬県	22 医療法人社団 仁圭会 林外科病院	東京都
4 野村皮膚科医院	神奈川県	23 医療法人社団Matera 丸山クリニック	神奈川県
5 医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック	東京都	24 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック柏	千葉県
6 医療法人ゆうの森たんぼクリニック	愛媛県	25 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック川口	埼玉県
7 医療法人ゆうの森たんぼ徳津診療所	愛媛県	26 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック品川	東京都
8 医療法人 明医研ハーモニークリニック	埼玉県	27 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック墨田	東京都
9 医療法人慶聴会 矢澤クリニック北本	埼玉県	28 医療法人社団悠翔会 悠翔会くらしケアクリニック練馬	東京都
10 医療法人慶聴会 矢澤クリニック渋谷	東京都	29 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック新宿	東京都
11 医療法人社団友仁会 赤坂見附前田病院	東京都	30 医療法人財団はるたか会あおぞら診療所うえの	東京都
12 社会医療法人河北医療財団天本病院	東京都	31 キラリこどもクリニック	東京都
13 社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	千葉県	32 医療法人社団淳友会 わたクリニック	東京都
14 岡崎クリニック	東京都	33 医療法人社団健育会西伊豆健育会病院	静岡県
15 医療法人社団楓の風 在宅療養支援クリニックかえでの風	東京都	34 国民健康保険 平戸市民病院	長崎県
16 医療法人社団仁悠会 しながわ内科・循環器クリニック	東京都	35 社会医療法人 青洲会 青洲会病院	長崎県
17 医療法人社団ほつきたなら駅上ほつきクリニック	千葉県	36 医療法人医理会 柿添病院	長崎県
18 医療法人社団ファーストムーブメント 木村メディカルクリニック	東京都	37 平戸市立生月病院	長崎県
19 医療法人社団 湯泉会 山王リハビリクリニック	東京都		

※地域医療研修先(予定) 2023年5月現在。上記から変更となる可能性があります。

OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

小児科医育成コース

2024年度定員 2名 (予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修する、小児科医を目指す人のためのコースです。

※2年次のローテーションは順不同

1年次	研修は小児科からスタート 小児科 (8週)	(小児)麻酔科 (8週)	(小児)救急科 (8週)	内科 (24週)			
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	小児科 (4週)	NICU (4週)	小児外科 (4週)	精神科 (4週)	産婦人科 (4週)	選択 (24週)

大学外での研修も可能

- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
- 一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。
- 病院長から特別な許可を得て、合計最大で3か月まで大学以外の施設(東京都小児総合医療センター、川崎市立川崎病院、横浜市立市民病院、さいたま市立病院(小児科、NICU)など)での研修も可能です。
- 二葉乳児院や島田療育センターの子どもを通じて社会情勢を学ぶ事も可能です。



都立小児総合医療センター

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE from CENTER STAFF

臨床能力に加えて豊かな人間性や科学的探究心を持つ小児科医を育成します

厚生労働省が定めた医師臨床研修制度の基本理念を基に、将来の小児科医を育成するために子どもに関わる診療科を重点的に研修するために組まれたプログラムです。当院の小児科・NICUを中心にしながら、小児外科・産科、さらには自由選択で連携施設である市中病院の小児科・NICUで研修する事で、子どもに関連する幅広い疾患を経験することが出来ます。

通じて数多くの患者さんに接し、診療する事で、医師として必要な基本的臨床能力を身につけるだけでなく、その人格をかん養し、科学的探究心を持ち続けられる人材を育成する事を目指しています。

子どもを治す事に喜びを感じ、自分自身も成長し続けたいと考えている方には最適の環境です。皆様にとって、ロールモデルとなる小児科医とも出会えると思います。是非、慶應義塾大学病院小児科医育成コースに入り共に学んでいきましょう。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
明石 真幸

小児科研修のみならず、内科・外科研修・地域医療研修を

MESSAGE 03

[小児科医育成コースの研修医からのメッセージ]

最高の環境で最高の仲間と医師の第一歩を

慶應義塾大学病院は、各科で専門的な知識や経験を生かし、最先端な治療をしています。小児科では複合、精神保健、新生児、心臓、血液、PICUのいずれかの班を希望し、研修をすることができます。また当コースでは、2年次の選択期間に関連病院の小児科をローテーションでできることが魅力的な点として挙げられます。昨年度から選択期間が6ヶ月に増え、さらに可能性の幅は広がりました。大学病院では専門性の高い疾患を深く学び、市中病院ではcommon diseaseを幅広く診療するという、双方の利点を生かした研修ができます。

私は小さい頃から小児科医になりたいと考えていましたが、どの分野を専門にするかという見通しが決まっていませんでした。しかし研修を通して、自分の思い描く小児科医としての将来像を確立できていると感じています。

初期研修病院を決める時、「同じ志を持った仲間と研修がしたい」と思い、当院を志望しました。慶應義塾大学病院には尊敬できる先生、切磋琢磨できる仲間がたくさんおり、医師としてだけでなく、人として学ぶことがたくさんあります。みなさんと働けることを心待ちにしています。



2022年度
小児科医・産婦人科医育成コース
(小児科選択)
酒井 英知
(2年間、慶應義塾大学病院)

産婦人科医育成コース

2024年度定員 2名 (予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修する、産婦人科医を目指す人のためのコースです。

※2年次のローテーションは順不同

1年次	研修は産婦人科からスタート 産婦人科 (8週)	外科・小児精神の1診療科 (4週)	救急(8週)+麻酔(4週)	内科 (24週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	外科・小児・精神 (未研修の診療科: 8週)	産婦人科 (8週)	選択 (28週)

- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
- 一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。
- 小児科研修を新生児救急としてNICU研修とすることも可能です。
- 産婦人科研修期間中に限り、産婦人科当直研修をすることが可能です。

*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

MESSAGE from CENTER STAFF

女性に特有の医療への理解を深めるチャンス

診療科の臨床を実地に学び体感することで、将来の専門研修の進路選択の参考にできることは初期臨床研修の大きな魅力のひとつです。「産婦人科医育成コース」となると、将来が産婦人科一択になると身構えてしまうのではないのでしょうか。もちろん既に将来の自分の産婦人科医としての未来像が描けている人にとっては、多くの診療科のローテーション中にも将来産婦人科医になる自分にとって学ぶべき内容を優先的に指導してもらえらるチャンスとなりえます。一方で産婦人科は月経、妊娠、

出産といった女性特有のライフイベントの他にも女性器特有の疾患を取り扱うという医学としてではなく、女性に対する医療、診察に特有な配慮といったことをもっとも意識している診療科と言えます。患者さんの半分をしめる女性に対しての医療者としての接し方を当たり前のように身につけるだけでも有意義なプログラムとなると思います。女性のミカタの産婦人科的視点をもった医師として多くの診療科に羽ばたいてもらいたいと思います。



[プログラム責任者]
卒後臨床研修センター
副センター長
内田 浩

MESSAGE 04

[産婦人科医育成コースの研修医からのメッセージ]

医師としての第一歩を慶應義塾大学病院で

私が慶應義塾大学病院を研修先に選んだ理由は、臨床・研究・教育全てに力を入れていること、幅広い知識を身につけられる機会にあふれた病院であると感じたからです。臨床や研究では、基本症例はもちろん、大学病院ならではの稀有な症例まで、幅広い症例と触れ合うことができます。産婦人科コースでは産婦人科だけではなく、1年目は麻酔科、救急科、内科も回ります。2年目の選択期間では市中病院の産婦人科や当院にある全ての科を選択することができます。産婦人科医になるために必要な知識を得るために様々な診療科

を回る事ができる選択肢の広さは当院ならではの魅力です。

最初はわからないことばかりですが周りの先生方が親身になって教えてくださいましたし、指導医の先生がレクチャーをしてくださることもあります。先生方の手技を身近で目にする事ができるため学ぶことが多く、日々とても充実しています。

将来産婦人科医になることを考えている方はぜひ、一度見学にいらしてください。みなさんと一緒に働けることを心より楽しみにしています。



2020年度
小児科医・産婦人科医育成コース
(産婦人科選択)
富井 恵
(2年間、慶應義塾大学病院)

OUTLINE of PROGRAM

【研修プログラム紹介】

基礎研究医コース

2024年度定員 2名 (予定)

定員およびコースの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 臨床研修と基礎研究の両立を可能とする基礎医育成コースです。

※ローテーションは順不同

1年次	内科 (24週)		救急 (8週) + 麻酔 (4週)	外科・小児・産婦・精神 (1~3診療科:各4週)
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む:4週)	外科・小児・産婦・精神 (未研修の診療科:各4週)	選択 (~40週) (基礎医学系教室での研修期間を含む)	

- 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週以上行います。
 - 原則、1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします。
 - 2年間のうちに、外科、小児科、産婦人科、精神・神経科の4つの必修科目を研修します。
 - 2年次の選択研修期間中に、16週以上24週未満の間は基礎医学系教室に所属し研究活動を行います。
- *当院の研修は休診日、GW・年末年始等を考慮し、1年を48週間換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

基礎医学系教室での指導分野

1	解剖学
2	生理学
3	薬理学
4	医化学
5	分子生物学
6	衛生学公衆衛生学
7	感染症学
8	病理学
9	微生物学免疫学
10	法医学
11	医療政策・管理学
12	臨床遺伝学・先天異常学
13	細胞組織学
14	脳科学
15	拡張知能医学
16	がん免疫学

MESSAGE 05

【基礎研究医コースの研修医からのメッセージ】

研究遂行能力を持った医師になるために

医学は自然科学であり、診療の実践、ひいては医学の進歩のためには、科学的な思考が不可欠です。基礎研究医コースは、疾患を診療する医師と、科学的に新たな知見を生み出す研究者の双方に必要なトレーニングができる、またとない研修プログラムです。

医師が日々行う診断・治療は科学的なエビデンスに立脚している必要があります。先行研究・知見への批判能力、エビデンスに沿った診断・治療の実践は全ての医師に求められている力です。更に、未知の事柄に対する研究能力を持った医師は、それまでの技術では診断・治療のできなかった疾患の克服に貢献するという大きな役割を持っています。

慶應義塾大学病院には世界一流の研究を行なっている基礎医学系教室が併設されており、本邦において基礎研究医の養成所として比類なき施設です。創設者である北里柴三郎・福澤諭吉両人の意志を受け継ぎ、「基礎臨床一体型医学」「疾患を自然のものと諦めず、常に克服のために全力を尽くす」という病院の風土があります。

臨床科のローテーションで医師としての考え方や臨床現場のニーズを知り、選択期間中の最大半年間はフルタイムで研究活動に勤むことができます。研究活動中も他のコースの研修医と同じ待遇であるところが、特筆すべき本コースの特徴です。

臨床・研究の双方を経験されてきた先輩方の仲間入りをして、一緒に未来の医学を開拓しませんか。



2022年度
基礎研究医コース
佐藤 正幸
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from CENTER STAFF

「診療のできる基礎研究医」を養成し、キャリア形成の幅を広げます。

世界的に基礎医学研究の重要性が再認識されている中で、厚生労働省が新たに打ち出したプログラムです。基礎医学研究に意欲がある方を対象に、慶應義塾大学が有する恵まれた環境とリソースを活用して、臨床研修と基礎医学研究の両立を目指します。1年目には各診療科領域の指導医から基本的診療やチーム医療を学ぶと共に、受け持った症例や遭遇した医療上の未解決点を研究課題へと変換する思考法を学びます。また、2年目の選択研修期間のうちの一定期間(16週~24週)

基礎医学系教室に所属して医学研究を行うことができます。このコースでは臨床研修の到達目標を達成しながら「診療のできる基礎研究医」を養成しますので、社会からのニーズに応えるだけでなくあなたのキャリア形成の幅を大きく広げることにつながります。慶應義塾大学医学部はこの新たなプログラムの目的の達成に最適な環境を提供できますので、是非挑戦してみてください。本コースの第1期の研修医からも、すでに好評をいただいています。



【プログラム責任者】
卒業臨床研修センター
平橋 淳一

MESSAGE from RESIDENTS

【研修医からのメッセージ】

敷居が高いのでは…、と思われがちな慶應義塾大学病院。けれど、素顔は明るく、熱意あふれる先生ばかりです。現在、研修医として活躍している先輩たちの生の声をご紹介します。

MESSAGE 06

【他大学出身の研修医からのメッセージ】

将来像を見据えた研修を行えます！

皆様、こんにちは。私が慶應義塾大学病院で2年間初期研修をすることを選んだ理由を2点説明します。

1つ目は、多くの診療科をローテートできる研修医のうちに、common diseaseだけでなく大学病院でしか学べないような難しい症例や最先端の治療・研究に触れたいと考えたからです。当院は特定機能病院や臨床研究中核病院等に認定されており、指導医の先生方はそれぞれの専門の分野で活躍をされている方ばかりです。そういった優秀な先生方に、色んな角度からご教示いただけるという点がとても魅力的だと思います。

2つ目は、初期研修終了後の進路についてじっくりと考えることができるからです。当院ではすべて

の診療科が揃っています。市中病院にはない診療科でも研修をすることができます。2年目の選択期間では40週、希望する診療科で研修させていただくことが可能ですので、その間にじっくりと進路について考えることができます。

このように当院では、素晴らしい環境の中、自由度の高いプログラムで将来を見据えた研修ができます。また、出身大学も様々であり、慶應義塾大学出身でない方も多くいます。研修医の大多数が他大学出身です。当院では教育熱心で各分野でご活躍されている上級医の先生、切磋琢磨し合える優秀な同期、初期研修に相応しい環境が揃っていると思います。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。



2023年度
大学一貫コース
北野 優美
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE 07

【他大学出身の研修医からのメッセージ】

医師としての第一歩はここで！

皆さん、こんにちは。私が当院を研修で選んだ理由は、地域-大学循環コースがあることです。1年目は川崎市立川崎病院で市中病院の特色を生かしたcommon diseaseを中心に研修させていただきました。地域特有の疾患も診ることで経験症例の幅を広げることができ、貴重な経験になりました。また2年目は将来を見据えた診療科選択を行いました。多くの人は研修中に進む診療科、入局先など迷う時期であると思いますが、大学病院だけでなく、関連の地域病院でもロールモデルとなる指導医の話をお伺いできたことは本コースの魅力であると実感しました。臨床経験豊富な指導医から進路選択のご助言をいただけたのは、自身の進路選択に非常に参考になりました。

慶應義塾大学病院と聞くと、どのようなイメージを浮かべますか？アカデミックで研究が盛んなイメージを浮かべる方も多いのではないのでしょうか。私は大学病院で研修を始めてから当院の先進的医療を提供する先生方は第一に臨床経験を大切にしていることに感銘を受けました。当院は研究、ベンチャー企業、臨床の第一線で活躍される指導医が近くにいる環境で将来の選択肢を広げることができるため、とても恵まれた環境です。また全国から他大学出身の研修医が集まるため、様々な背景を持つ仲間と刺激のある研修生活が送れると思います。ぜひ皆さんが慶應義塾大学病院で新しい門出を迎えられることを楽しみにしております。



2022年度
地域-大学循環コース
堀 雄哉
(1年目、川崎市立川崎病院
2年目、慶應義塾大学病院)

協力型病院研修
REPORT

川崎市立井田病院

(神奈川県 川崎市)



地域医療研修
REPORT

医療法人社団悠翔会

悠翔会在宅クリニック品川

(東京都 品川区)



【協力型病院からのメッセージ】

市民から信頼され、安心してかかれる病院づくり



川崎市立井田病院
病院長
伊藤 大輔 先生

当院は、東急東横線日吉駅から徒歩約10分の丘陵地にあり、地域の中核病院として一般医療のほか生活習慣病などを中心とした、専門性の高い病院として常に地域住民の要望に応えるとともに、二次救急医療を担っています。臨床研修指定病院としては、初期臨床研修医教育環境の充実、各種セミナーの活動などを通じて、地域の医療水準の向上にも寄与しています。また、高齢社会を支える総合的

な拠点として「在宅緩和ケアセンター」を設置し、「緩和ケア」「在宅ケア」「医療依存度の高い高齢者ケア」をプライマリ・ケア、家庭医療に基づき、病棟・在宅の垣根なく総合的に診療しています。さらに、地域がん診療連携拠点病院として、がんを患われた方のあらゆる問題に応え、終末期の緩和ケアを含めた決して見捨てない医療に、チーム医療の一員として積極的に取り組んでいます。

今後も病診連携を深めつつ、一層地域医療に貢献することを使命と考えていますので、当院での臨床研修を通して、温かい心を持って患者に優しい手を差し伸べる、そして確かな技術を提供できる医師への第一歩を踏み出してください。

【地域医療研修病院からのメッセージ】

全人的医療を体験して下さい



医療法人社団悠翔会
悠翔会在宅クリニック品川
院長
西 和男 先生

悠翔会在宅クリニック品川の院長の西和男と申します。当院は大井町駅徒歩5分に位置し、訪問診療を専門に行っているクリニックです。約80%の患者さんがクリニックから半径3km以内に住まれており、地域に密着した診療を行っています。そのため、地域の基幹病院の先生方や、訪問看護師、ケアマネージャーさんと顔の見える関係を超えた、垣根のない気兼ねなく話し合える関係性を構築しています。

当院の患者さんは約20%が癌の終末期、残り約80%が病気や高齢のため通院が難しい方々です。回復の見込みが少なく、病気と共に過ごしていく患者さんが中心となるため、医療者として患者さん、ご家族さんが、納得した生活を送れるよう支援できているかが大切となります。納得感は、個々の価値観からきていますから、当院では「患者さん、ご家族さんの価値観の理解」という点を特に大切にしています。そのため病気の治療に留まらず生活まで踏み込んだ全人的な治療を行なっています。最先端医療とはまた異なった、全人的な医療を体験して頂ければと思います。

最先端医療とはまた異なった、全人的な医療を体験して頂ければと思います。

REPORT
01

【協力型病院研修レポート】

地域に根ざした医療現場に身をおいて

私は在宅医療や地域密着型医療に力を注いでいる病院で研修したいと思い、川崎市立井田病院を選択しました。大学病院は高度な医療を提供するため、研修医が率先して患者さんと関わることが少ないと感じていました。一方で井田病院では問診はもちろ

ん、採血や中心静脈カテーテル挿入などさまざまな手技を研修医が主体となって行うことができます。また大学病院とは違い、退院後のケアや検診など定期的に患者さんと接する機会があります。市中病院ならではの経験を十分にできるので是非この環境で過ごしてみてください。



2023年度 地域-大学循環コース
佐々木 大志
(1年目、川崎市立井田病院
2年目、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

8:30 ~ 9:30	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 12:00	12:00 ~ 13:30	13:30 ~ 14:30
病棟業務	病棟回診	内視鏡検査	昼食・休憩	カンファレンス
回診の前に患者さんの様子を見て回り、採血を行います。	指導医の先生と一緒に患者さんの経過や予定を確認後、病棟回診を行います。	内視鏡センターで上部・下部の内視鏡検査の介助を行います。	同期や先輩方と談笑しながらお昼休憩。	多職種の方々が集まる場で、病棟の患者さんの状態や今後の方針についてプレゼンテーションを行います。

14:30 ~ 17:00

病棟勤務

カルテ記載、薬や点滴の処方を行います。処置がある際には、介助に入ります。

病棟業務

患者様の診察の内容や薬の処方についてカルテ記載。



緩和ケア病棟

緩和ケア病棟では、緊密なチーム医療・ケアを行い、地域社会の中で身体から心までのケアを提供しています。



ハーブガーデン

「市民とともに歩む病院」として、地域の方々にボランティアとして庭の手入れなど多くの支援をいただいています。



REPORT
02

【地域医療研修レポート】

患者さんの生活を支える医療を実践する

私は超高齢社会の中で需要がますます高まっている在宅医療を経験するため悠翔会在宅クリニック品川を研修先に選びました。研修中は午前も午後もお宅を回り続ける毎日、指導医と一緒に多くの患者さんの診察や処置を行いました。

個別の疾患を専門的に診ていく大学病院に対し、在宅医療では多疾患併存状態の方が多く、生活全体を診ていく必要がある点に面白さを感じました。病気を治すよりも生活を支えることに重点を置く在宅医療を経験することで、患者さんのために何ができるか考えるための視野が広がったように思います。



2022年度 大学一貫コース
古関 恵太
(2年間、慶應義塾大学病院)

ある1日の研修スケジュール

9:00 ~ 9:05	9:05 ~ 9:30	9:30 ~ 12:30	12:30 ~ 13:30	13:30 ~ 17:00
朝礼	カンファレンス	訪問診療	昼食・休憩	訪問診療
連絡事項を共有し、悠翔会在宅クリニック品川の理念を読み合わせます。	患者さんについて相談や振り返りを行います。	午前の訪問診療に向かいます。指導医と一緒に患者さんの問診、診察を行います。	お昼休憩です。大井町駅前にはランチスポットがたくさんあります。	午後の訪問診療に向かいます。採血、ワクチン接種などの処置も行います。

17:00 ~ 18:00

介護施設へ往診

患者さんの具合が悪くなったとの連絡が入った場合は、急遽往診へ向かいます。

診療風景

主治医と一緒に診察、検査を行います。在宅医の醍醐味コミュニケーション力を体感できます。



往診車

ドライバー、主治医、看護師、研修医4人で訪問します。車内はゆとりがあり快適です。



大井町周辺

JR線、東急線、りんかい線が利用可能なとても便利な大井町。買い物もとても便利です。



教育指導体制

STYLE of TRAINING

熱心な指導医のもと、チーム医療の一員となり、手技や知識を習得します。



オリエンテーション

オリエンテーションでは、医師として身につけておくべきことを中心に講義が行われます。その後、救急蘇生法の基礎、採血・静脈ライン確保、心電図等の基本手技の習得、点滴調剤、クロスマッチ、感染症実習や、電子カルテ研修が行われます。

1	オリエンテーション		2	懇親会	
3	ワークショップ				
4	クロスマッチ、 救急蘇生法の基礎等				

クリニカルシミュレーションラボ

最新の腹腔内視鏡手術シミュレーターを始め豊富な機材を保有しているため、様々なシチュエーションのトレーニングが可能です。また、専属の管理人が常駐しているため、常に適切なアドバイスが受けられ、BLS、ICLS、BTLS、ATLSの講習会も開催されています。



ランチョンセミナー

毎週木曜日のランチタイムに、初期研修に必要な教育講演や、研修医による「症例呈示・レクチャー」、「M&Mカンファレンス (Morbidity & Mortality)」が行われています。

2023年度 ランチョンセミナー

	講義内容例
1	ランチョンセミナーの歩き方
2	個人情報保護・公益通報について
3	実践的な症例呈示のしかた
4	病理診断の正しい依頼法と報告書の読み方
5	低Na血症の診断と治療
6	指示簿の書きかたのコツ
7	アレルギーマーチを診る、防ぐ、治す！
8	全身麻酔・局所麻酔のポイント
9	臨床検査との付き合いかた
10	ストレスに対処するためのマインドフルネス
11	保険診療のルールについて
12	救急診療に必要なCT読影のABC
13	研修医による症例呈示・レクチャー
14	抗菌薬、正しく使っていますか
15	研修医による症例呈示・レクチャー



内科系研修医のための初期診療カンファレンス

2×2 [ツーバイツー] カンファ

内科系研修医のための初期研修カンファレンスを行っています。毎月第2週の午後2時から行うということで「2×2カンファ」と呼んでいます。

背景	<ul style="list-style-type: none"> ● 慶應義塾大学病院においては専門性の高いレベルでのカンファレンスや教育回診は幅広く行われているものの、初期研修医の段階での総合診療的な教育はまだ不十分である。 ● さらに、内科系専修医が教育を行う立場として活躍できる場面も限られている。
目的	内科系で日々の臨床の大前提となる基本的な疾患に関する臨床の実践を身につける場を設け、研修医や専修医が主体的に疑問を呈し、議論できる場として活用する。



2023年度 2×2カンファスケジュール

	日程		日程
1	5/26 (金)	6	7/3 (月)
2	5/29 (月)	7	7/6 (木)
3	6/2 (金)	8	7/7 (金)
4	6/6 (火)	9	7/11 (火)
5	6/9 (金)		



OUTLINE of PROGRAM

【専修医研修プログラム紹介】

専門医育成一貫教育プログラム

▶▶▶ 本プログラムが支援する卒前教育から生涯教育までの医師キャリア形成システム
— 卒後10年までの専門医育成を関連教育病院と連携して推進 —

慶應義塾大学病院は、1920年の開院以来、患者さんに優しく、患者さんに信頼される、患者さん中心の医療を実践し、「豊かな人間性と深い知性を有する医療人」の育成を理念としています。

初期臨床研修では、わが国トップのアカデミックな医療環境のもとで、各人が高いモチベーションを持って、基本的な臨床能力を幅広く修得します。その特徴として、1)多彩で豊富な臨床症例の経験、2)熱意ある、優れた指導医により、最新の医療知識と臨床技能を確実に身につけられる研修システム、3)将来の目標とする医師像(キャリア・パス)を考えながら、希望診療科を選択できる柔軟な研修プログラムがあります。

専門医研修では、当院が、指導医と研修環境の充実した、わが国有数の関連教育病院と緊密なネットワーク(Keio Medical Alliance)を形成し、最先端の医療知識と臨床技能などの高い専門性(Speciality)を確立するとともに、地域医療を支える総合的な診療能力を涵養します。一方、専修医(専攻医)プログラムと大学院博士課程を併行履修できるシステム(※)などを活用し、基礎-臨床医

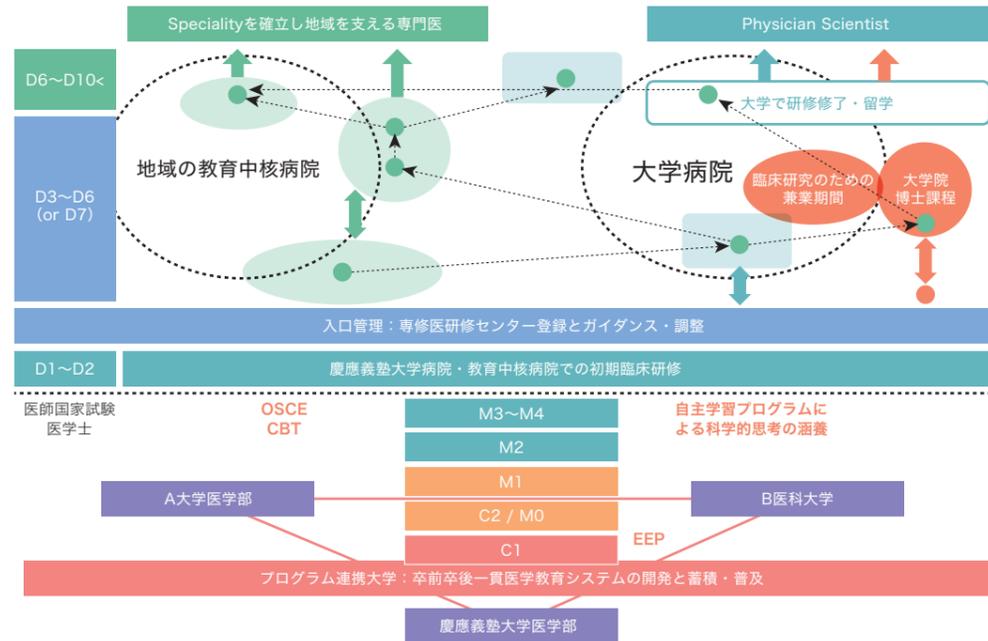
学一体型の研究マインドを有する臨床医(Physician Scientist)を育成します。

以上のように、当院の卒後医学教育(臨床研修)は、1)患者さん中心のメディカル・プロフェッショナリズムの実践、2)高度な専門知識や診療技術の修得、3)未来の医学・医療を先導する「科学的思考と研究開発能力」、グローバルな視点を有する専門医の育成を目標とし、全人的医療、高度先進医療、地域医療、先端臨床研究を実践する「質の高いプログラム」を提供します。そして、指導医と専修医・研修医が、本学の伝統的教育システムである「半学半数(指導者と学習者が生涯にわたり、互いに教え合い、学び合う)」のもと、日々の医療現場の中で、医学・医療の研鑽を積んでいます。

2018年度から新専門医制度による専修医(専攻医)研修を開始し、基本領域19診療科の専門医研修プログラムの充実に取り組んでいます。また、日本専門医機構認定の共通講習会(医療倫理・医療安全・感染対策)を年3回程度、開催しています。

※新専門医制度における専修医(専攻医)研修と大学院医学研究科博士課程の併行履修については、各診療科によって異なります。(2023年5月現在)

キャリアデザインの流れ



慶應義塾大学病院の変遷

1. 医学部の設立と「慶應医学」の確立
1917-1941



1917年 医学科予科教室(三田山上)

2. 戦災と復興
1944-1963



1950年代 病院本館(木造)を臨む医学部全景

3. 教育・研究・診療の充実への模索
1965-1984



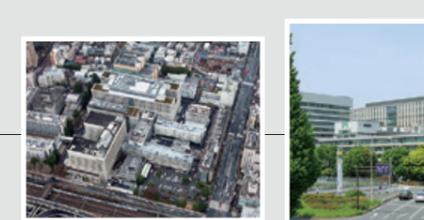
1965年 病院1号棟竣工時

4. 未来への継承
1986-2017



2001年 総合医科学研究棟竣工時

5. 世界に冠たる総合医学府の構築を目指して
2018-



2018年 新病院棟竣工時

MESSAGE 08

【専修医からのメッセージ】

将来を見据えて充実した教育環境で研修してみませんか

私は当院で2年間の初期研修を経て、整形外科教室の専攻医プログラムに参加しています。

学生の頃から当院の整形外科教室の専攻医プログラムを考えており、その上で初期研修はcommon diseaseから専門性の高い希少な疾患まで幅広く経験でき、スムーズに専攻医のスタートを切ることができる地域-大学循環コースを選択しました。

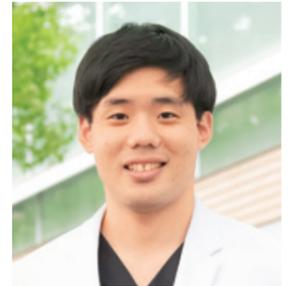
ここでは専攻医になって改めて感じた、このコースの魅力が大きく2つほどお伝えできればと思います。

まず1つ目は、充実した教育環境がどの研修病院にも揃っている点です。2つの特色の異なる病院で研修させていただきましたが、どちらも洗練された

教育体制の下、担当患者さんの診療に対して豊富な臨床経験を持つ先生方から手厚い指導、フィードバックを受けることができました。1人の患者さんに対して何度も考察する機会があるため、より深い知識と次に活かせる経験を得ることが可能です。

2つ目は、自分の志望科を見据えて自由度の高い研修を選択できる点です。このコースは最大40週の選択研修が可能のため、私の場合は2年目の大学院研修の際に、整形外科と関連する診療科をじっくりローテートすることができました。

是非1度見学にいらして、魅力を実感していただき、医師としてのキャリアのスタートダッシュを当院の初期研修で決めてみませんか。



専修医D3(整形外科)
影山 瑛大
2021年度採用研修医
地域-大学循環コース修了

MESSAGE 09

【専修医からのメッセージ】

恵まれた研修環境で

私は当院の大学一貫コースにて2年間の初期臨床研修を行いました。そして慶應義塾大学医学部眼科学教室の高度で先進的な眼科医療への取り組みや研究体制に感銘を受け入局いたしました。

初期研修では、1年目で内科、救急科をはじめとする必修診療科で基本的診療業務を学び、2年目は選択の自由度が高い当コースの特徴を活かし、入局を考えている科やその科に関連する科などを中心に入局を見据えたローテートをさせていただきました。

現在私は大学病院で研修しておりますが、近々関連病院への異動を控えております。当科は多岐にわたる専門外来と豊富な症例数を有し、幅広い臨床経験を積むことができます。入局後最初はチー

ム制で診療や手術の助手について一からご教授いただき、カンファレンスでの発表や学会発表、論文作成、ウェットラボなどにおいても熱心で充実したご指導をいただいております。また、将来のことや困っていることに対しても親身に相談のつてくださり、専修医への細やかなお気遣いにも感謝しております。熱意をもって診療にあたられている先生方の姿勢を目の当たりにし刺激を得ながら、多様な出身大学の同期達と共に精力的に研修に取り組む日々です。

このように学びが多く風通しの良い大変恵まれた研修環境です。ご興味のある皆様、ぜひ見学にお越しください。



専修医D4(眼科学)
福本 咲季
2020年度採用研修医
大学一貫コース修了

特別座談会 DISCUSSION

【座談会紹介】

それぞれの思う理想の医師を目指して、キャリアの土台を築く初期研修。慶應義塾大学病院で研修中の研修医たちの声を通し、研修の実際や、病院の雰囲気など、研修生の日常をお伝えします。



小林 真依子
2022年度
大学一貫コース

平形 道人
卒後臨床研修
センター長

三木 陽南子
2022年度
地域・大学循環コース

石井 大雅
2023年度
大学一貫コース

最先端の医療と手厚い指導環境の中で、 様々な大学から集う研修医が切磋琢磨しながら 幅広い診療経験を積んでいます

平形 自己紹介とともに、初期臨床研修先として慶應病院を選んだ理由を教えてください。

小林 東京女子医大出身、大学一貫コースの2年目です。小児科又は小児外科を志望しており、小児科の専門班が充実し移植など大きな手術の実績もある慶應を選びました。私は子どもの頃にこちらの小児科にお世話になったことがきっかけで医師を志しましたので、そのご縁もあります。学会発表等にも興味があり、2年間じっくりとアカデミックな環境で学べることが魅力でした。

三木 私は慶應義塾大学の出身ですが、ポリクリで手厚い指導を受けたことから、慶應での研修を決めました。大学病院と市中病院の両方を経験して幅を広げたいと考



え、地域・大学循環コースを選択しています。1年目には台東区の中核病院である永寿総合病院で地域医療に触れ、現在は2年目です。診療科が充実した大学病院で、診療科を決定したいと考えています。

石井 大学一貫コースの1年目です。出身は東邦大学ですが、5年次に消化器内科で1か月間、慶應で実習をさせていただき、高度な医療の提供に加え、指導医の熱心さや、研究も積極的に行われている環境にも感銘を受け、初期研修でもお世話になることにしました。内科系を志望しています。

平形 当院には、小児科医育成コースもありますが、小林先生はそちらは考えなかったのですか。

小林 その点はとても悩みました。小児科であれば、外科専門医を取得後、小児科に進む道もあるので、外科、内科を幅広く経験して力をつけていく道を選びました。必修で

も志望に合わせて細かい領域を選択できますので、1年目の外科では小児外科を選択し、キャリアを積んでいます。

平形 三木先生は、1年目に永寿総合病院を経験されて、大学病院と比較していかがですか。

三木 高齢者の誤嚥性肺炎、尿路感染症などのCommon Disease、様々な手技の他、コントロールに課題のある糖尿病の方、脳卒中、心筋梗塞など、地域医療ならではの経験を積めました。医師、看護師、コメディカル、そして患者さんとの距離も近いので、コミュニケーション面でも学びが多かったと感じます。一方、慶應では、カンファレンスで中身の濃いディスカッションが行われ、2年目の今、新鮮な気持ちで参加しています。慶應でもCommon Diseaseに多く出会えることは意外でした。

平形 大学病院でもCommon Diseaseの経験数に問題ないのですね。手技の経験が少

ないといわれることもありますが、いかがですか。

小林 救急外来では虫垂炎などにもあたりますし、指導医の先生の監督のもと、ファーストタッチの経験も多く積んでいます。Common Diseaseとともに、ルート確保、採血など、手技の機会もとても多いと感じています。新生児のルートを取る経験もできました。



石井 私は2回当直を経験しましたが、ファーストタッチから参加できて、主体的に考える姿勢が身につくと感じています。

三木 慶應の当直では、1年目の病院ではあまり経験のなかった外傷や鼻出血などの初期対応に参加できたことが印象的です。

平形 当直は幅広い経験のできる機会ですから、プログラムでも重視しています。当直や当直明けの体制で困ることはありませんか。

石井 研修医は6名で、そのうち1～2名が1年目という体制です。はじめての当直は緊張しましたが、すぐ上の先輩が常についてくださることが心強く感じられました。

小林 当直は1か月に3～4回あり、当直明けは必ず休みが取れるので体調を整えられます。

三木 永寿総合病院でも、当直明けは必ず休んで回復を図れました。回数は月3回でした。

平形 Common Diseaseや手技の経験に問題なしということですが、逆に、大学病院ならではのよさを感じることはありますか。

石井 あらゆる診療科の最先端を経験できる環境に身を置けることは、専門診療科を絞っていくのに大きなメリットだと考えています。慶應は多種のカンファレンスがあり、視野を広げられます。大学病院ですが堅苦しさもなく家庭的でフランクな雰囲気です。2年目の先輩から、カルテを並べて手厚く指導を受けたり、当直の心構えを教えてくださいと、とても助けられています。

三木 Common Diseaseも希少疾患も幅広く経験できることは魅力です。人数が多い組織では、様々な考えを聞く機会も多くなる

ので、柔軟な考え方が身につくと思います。

小林 様々な診療科で症例報告の練習機会があり、成長できました。アカデミックな環境を生かして、私は腹部救急医学会で研究発表し、賞も受賞できて自信になりました。ネットを通じて、いつでもどこでも論文にアクセスできるシステムも頻りに活用しています。身近に学生がいると教える機会もあるため、知識が定着しやすいと感じます。

平形 症例報告の練習は、今後役立ちそうですね。学会発表は臨床の力もつくでしょう。リモートで論文を読むシステムも活用いただき嬉しい限りです。慶應には各科にその領域で診療指針を立てるようなリーダーが在籍しています。そうした人材の意見を聞くことも将来の糧となると思います。また、何か困ることがあれば、一人ひとり決まっているメンターに相談できます。こちらも活用してください。今年度の予定や将来の展望なども教えていただけますか。

小林 3年目以降を考えると、夏前までには志望科を決める必要がありますが、選択科目の時期を自分で決められるのは慶應の特長です。志望科決定のため、4～5月に小児科、6月に小児外科を選択しました。その他も、泌尿器科、形成外科等、小児を扱う科を中心に、消化器外科、精神科、画像診断の力もつけたく放射線科などを選択しました。将来的には海外留学も視野に入れています。

三木 私も検討している麻酔科、皮膚科、眼科の3科を4～6月に選択しました。現在のところは麻酔科の希望比重が大きいため、集中治療や緩和ケアも選択しています。

石井 消化器内科の研修で、緩和医療の大切さを実感しました。お痛みを訴え、表情も辛そうだったがんの患者さんが、緩和ケア開始後に表情が穏やかになり「毎日来てくれてありがとう」という言葉をかけてくださったことがあったのです。これからは高齢者が増える時代なので、内科に限定せず、リハ



ビリや緩和ケアなど、高齢者に関係する科をまわったり、患者さんに寄り添う姿勢も学びたいと考えています。

平形 患者さんへの寄り添い方の理解は、研修での目標のひとつです。その面での経験もできますから、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

さらに、漢方や透析など複数の診療科を横断するクラスター部門も充実しています。興味のある方は選択肢に入れてほしいですね。施設、設備についても感想を聞かせてください。



石井 病院棟が新しくきれいで快適です。緑の多い周辺環境も気に入っています。

三木 コンビニが2軒、スターバックスがあり、お昼にはキッチンカーもくるので、食事のバリエーションも充実しています。寮に入っていますが、近くに住めて助かります。

小林 私もお寮に住んでいます。都心の病院にもかかわらず、徒歩圏内に手頃な家賃で住まわせていただけるのはありがたいです。研修成果に直結するものでは、研修医室でカルテを見たり書いたりできる設備がとても役立っています。

平形 最後に、研修先を検討中の学生にメッセージをお願いします。

石井 いろいろな大学、地方からの先生が集まっています。私自身、他大学から来ましたが、学閥は全くなく、その点は心配無用です。見学のお願いや質問を快く受けてくださる先生ばかりで、意欲ある分、確実に成長できる環境です。

三木 Common Diseaseから希少疾患、アカデミックな最先端医療まで、指導熱心な先生方とともに広く学ぶことができます。さらに地域・大学循環コースなら、異なる環境に身を置くことで、経験と思考の幅を広げ、柔軟な考え方も身につきます。

小林 仲間たちと切磋琢磨し、学びたい分だけ返ってくる素晴らしい環境です。各々の将来設計を語り合いながら、視野も広がる毎日を送っています。慶應はお薦めですよ。

KEY-WORD 解説

出身大学

慶應病院には慶應義塾大学の卒業生のみならず、日本国内外から意欲に溢れた優秀な人材が集まっています。国籍や出身大学にこだわらず、多様な個性が交流する中で互いに客観的な評価と価値観を刺激し合い、目標に挑戦しています。

各科に豊富な人材

指導には各科・各分野のエキスパートがあたります。研修医は診療チームの一員として日本でトップクラスの指導医の指導をおおぎ、臨床で生じた疑問や問題を相談しながら解決して知識や診療技能を身につけていきます。

家庭的な環境

慶應病院は全員が一つの家族という意識で、同期の研修医、年齢の近い先輩の指導医や診療スタッフなどとフランクに語り、教え合う中で絆を深めています。伝統的家庭的な雰囲気はこうした交流の中から生まれています。

Common Disease

腰痛、高血圧、糖尿病など日常診療で出会う頻度の高い疾患のことを指します。特に救急科ではこういう症例の患者さんが多く、研修医たちは一人ひとりの患者さんを丁寧に管理することにより、プライマリ・ケアの実践力を磨いています。

新病院棟

医学部開設100年を記念する新病院棟建設事業として、10年にわたる長期間の工事を経て、2022年5月にグランドオープンを迎えました。KEIO FOREST (慶應義塾の杜)をコンセプトに、緑豊かな周辺環境を活かして安らぎと落ち着きを感じられる空間を提供します。

クラスター部門

診療科の壁を取り払い、各疾患に関連する分野の医師が連携して医療を行うクラスター診療の体制を整備しています。漢方、感染制御、血液浄化・透析、集中治療、緩和ケアなど診療科を横断的に研修することが可能です。

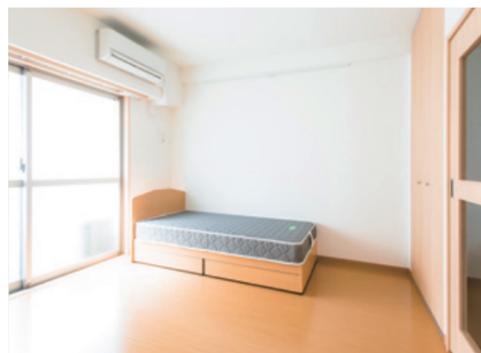
メンターとメンティー

慶應病院では研修医を精神的・身体的にサポートする制度を設けています。研修医8～11人(メンティー)に対し1人のメンター(メンター員)が担当し、メンターはメンティーが抱える研修上の問題や悩み、キャリア・パスに対して指導・相談を行います。

FACILITIES 【施設紹介】

病院正門を入ると左側には緑の木立が並びます。図書館や近代的な病棟、最新設備が揃った外来棟。神宮外苑や新宿御苑に囲まれた慶應義塾大学病院は、癒されながら伸び伸び学習可能な研修空間です。

研修環境



研修医寮

病院敷地内に紅梅寮、当院から徒歩10分以内にワンルームマンションタイプのクレール御苑前とセレスト四谷三丁目の全32部屋（単身者用）の研修医寮があります。寮費は敷地内の寮が22,000円、ワンルームタイプ（約23㎡）が約6万円です。（応募多数の場合抽選）



外観



エントランス



宅配BOX



キッチン



【入寮者からのメッセージ】

寮は病院から徒歩10分弱で着く場所にあります。病院から程よく離れているので、オンオフの切り替えになります。最寄り駅も近いので、休日にかけるのも便利です。部屋の内装はとてきれいで、快適に生活できます。寮費が安いのも魅力の一つです。都内での生活が初めての人にとっておすすめできる寮だと思います。

2023年度 大学一貫コース 門田 健明（2年間、慶應義塾大学病院）

※写真はクレール御苑前の紹介です。



信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

メディアセンターは皆さんの診療・研究を支える情報源の宝庫です。伝統ある建屋でくつろぎのひとときを過ごすとともに、いつでもどこでも電子的に論文を入手できる魅力を存分に味わってください。



研修医ラウンジ（1号館2階）

研修医が学習スペースとして、24時間利用することができます。教育研究ネットワークにアクセス可能な無線LANも完備しています。

院内施設



スターバックス

〈1号館1階〉広々としたくつろぎのスペースで、つかの間の休憩を。スタッフ専用のスペースもあります。



レストラン ザ・パーク

〈2号館11階〉緑豊かな神宮外苑を一望できる帝国ホテルのレストランです。



ナチュラルローソン

〈1号館2階〉24時間、年中無休なので便利です。



信濃町生協

〈病院棟裏〉1階では弁当、菓子、飲料が販売され、2階は書籍売場になっています。

SCHEDULE & INFORMATION 【年間スケジュール&募集要項】

年間スケジュール（2023年度予定）

		学生	研修医1年目	研修医2年目
5月	13日	歯科・口腔外科プログラム説明会	4月	研修医・専修医オリエンテーション、研修医ワークショップ、電子カルテオリエンテーション、CSL実習、点滴調剤研修、スタンダードプリコーション試験等（4月初旬～）
	27日	基礎研究医コース研修医採用試験		
6月	8日	医師マッチング参加登録開始	5月	オープンホスピタル（6月） 専修医説明会
	10日	医科プログラム説明会、オープンホスピタル		
	13日	歯科医師マッチング参加登録開始		
7月	8日	医師プログラム説明会	6月	専修医説明会
	22日	第1回医科研修医採用試験（1次） （地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース）		
8月	1日	歯科医師マッチング参加登録締切	7月	専修医説明会
	3日	医師マッチング参加登録締切		
9月	19日	歯科・口腔外科研修医採用試験（2次）	8月	専修医説明会
	9日	第2回医科研修医採用試験 （地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース）		
10月	11日	歯科医師マッチング希望順位表登録締切	9月	専修医説明会
	12日	医師マッチング希望順位表登録締切		
	24日	歯科医師マッチング結果発表		
11月	26日	医師マッチング結果発表	10月	専修医説明会
11月			11月	2年次研修先調整開始（予定）
12月		地域-大学循環コース研修先決定	12月	専修医応募（予定） 専修医採用試験（予定） 専修医採用決定（予定）
1月			1月	
2月	月上旬	歯科医師国家試験（予定） 医師国家試験（予定）	2月	
3月	中旬	医師・歯科医師国家試験発表	3月	研修修了判定（3月上旬） 修了式・懇親会（3月下旬）
	21日	病院見学会		

医科研修医募集要項

- 募集人数**
 - 地域-大学循環コース：各1年間 協力型臨床研修病院と慶應義塾大学病院 28名（予定）
 - 大学一貫コース：2年間慶應義塾大学病院 20名（予定）
 - 小児科医育成コース：2年間慶應義塾大学病院 2名（予定）
 - 産婦人科医育成コース：2年間慶應義塾大学病院 2名（予定）
 - 基礎研究医コース：2年間慶應義塾大学病院 2名（予定）
- 待遇**
 - 給与（年額）約360万円（当直料を含む）
 - 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災加入
 - 宿舎有り（全32部屋（原則、抽選により決定）、費用は月額22,000円～61,200円、医科および歯科で共有）（2023年3月現在）
 - ※協力型臨床研修病院においてはその施設の待遇に準ずる。
- 選考内容**
 - 地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース
卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。
 - 基礎研究医コース
1)筆記試験 臨床試験科目：内科・外科・救急より出題、2)研究内容についてのプレゼンテーション、3)面接
- 選考日および募集期間**
 - 地域-大学循環コース、大学一貫コース、小児科医育成コース、産婦人科医育成コース
第1回 2023年7月22日（土）
 - 第2回 2023年9月9日（土）
 - 基礎研究医コース（選考は終了しました。）
試験日：2023年5月27日（土）

*受験はどちらか一方のみに限る。
- 出願手続き**
 - ① 応募方法
卒後臨床研修センターホームページのWebエントリーシステムにアクセスし、必要事項を登録してください。
 - ② 応募書類
卒後臨床研修センターのホームページにてお知らせする予定です。
- 問い合わせ先**

慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
mail：med-srk-center@adst.keio.ac.jp
※最新情報は卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください。

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/medicine.html>



OUTLINE of PROGRAM

[研修プログラム紹介]

歯科・口腔外科プログラム

定員9名

▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。

※2年次は必ず各科をローテーションする。ローテーションは順不同

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	Aグループ	歯科			口腔外科			歯科			口腔外科		
	Bグループ	口腔外科			歯科			口腔外科			歯科		
2年次		歯科			口腔外科			麻酔科					

MESSAGE 10

[研修医からのメッセージ]

歯科と口腔外科の両方を高いレベルで学ぶことのできる唯一無二の研修プログラム

慶應義塾大学病院は様々な研修内容と熱い指導医の先生のもと、長い歯科医師人生のスタートとして確固たる基盤を作るには最適の環境です。1年目では歯科と口腔外科を、2年目ではそれに加え麻酔科をバランスよく、高いレベルで学ぶことができます。歯科では、それぞれの専門分野の指導医を持った先生方が熱心に指導してくれます。一般的な歯科治療から歯周外科治療、ペインなど専門性の高い治療、また有病者歯科など、自分次第で幅広く学ぶことができ、また診療のみでなく歯科技工も基礎から学べます。口腔外科では外来、手術、病棟管理まで幅広く学ぶことが可能です。がん治療や顎変形症治療など外科のチームの一員として貴重な経験を送ることができます。さらに歯科・口腔外科ともに幅広く指導医・専門医が在籍しており、学びたいことを応援し指導してくれる環境が整っています。研修後の進路や大学院についても

熱心に相談に乗ってくれます。外来では、歯科と口腔外科が同じフロアにあり、常に連携しながら業務にあたっております。また様々な出身大学の歯科医師が当科の研修プログラム出身であり、卒業生との繋がりも強く、慶應義塾大学病院の歯科口腔外科全体で研修医への指導に力を入れているのを実感しています。また各分野のカンファレンスも充実しており、臨床だけでなく大学病院としてアカデミックな要素も兼ね備えているプログラムになっており、学会での発表や論文作成に励むことも可能な環境であります。当院は歯科医師としての視野を広げ、医療人としての人間性から技術まで確かな成長を得ることができます。やる気さえあれば素晴らしい研修生活を送ることは必ずでき、長い歯科医師人生の土台となります。ともに慶應という名前を背負って働けることを楽しみにしております。



2022年度
歯科・口腔外科プログラム
青木 孝仁
(2年間、慶應義塾大学病院)

MESSAGE from PROGRAM STAFF

歯科と口腔外科をバランスよく研修できる充実したプログラムです

2年間慶應義塾大学病院で研修するプログラムです。歯科分野と口腔外科分野のどちらにも充実した専任のインストラクターがおり、歯科分野では指導医の資格を持つ歯周病専門医、補綴専門医、顎関節専門医が高いレベルでの研修を行います。口腔外科においても指導医の資格を持つ口腔外科専門医から、基本的な手技から専門的な治療までを学ぶことができます。口腔外科では、外来だけでなく、病棟での周術期管理も研修します。研修2年目では、歯科、口腔外科のローテーシ

ンに加え、麻酔科研修を行い全身管理についての理解を深めていきます。毎週、各分野のカンファレンスがあり、業務としてのみならず、知識としても身につくと確信しています。このように、他の施設にはないオンリーワンの魅力を活かして、有益な研修生活を送ってほしいと願っています。そして、研修医のあとも、継続して専修医として臨床を究めようとする道、大学院生として臨床の疑問を研究で明らかにしようとする道など、いろいろな可能性を用意して皆さんをお待ちしています。



歯科・口腔外科 教授
中川 種昭



当科では歯科と口腔外科をバランス良く研修することができるよう、「オンリーワン」のプログラムをモットーに皆さんをお待ちしております。

歯科・口腔外科研修医募集要項

- 募集人数** 9名
- 待遇** ・給与(年額)約240万円(当直料別) ・健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災加入
・宿舎有り(全32部屋(原則, 抽選により決定), 費用は月額22,000円~ 61,200円, 医科および歯科で共有)(2023年3月現在)
- 選考内容** 筆記試験(歯科, 口腔外科全般から出題), 英文読解, 面接
- 選考日** 1次 2023年7月8日(土)
2次 2023年8月19日(土)
- 募集期間** 2023年5月15日(月)~7月6日(木) ※最終日は17時締切
- 応募資格** ・大学歯学部または歯科大学を2024年3月に卒業予定の者
・歯科医師臨床研修マッチングに参加する者
・以前に外来見学あるいは説明会に参加したことが無い方は研修医担当主任にE-mailにて連絡をすること。
(歯科・口腔外科研修医担当主任 角田 和之 E-mail:keiodentkensyu@gmail.com)
- 応募書類** 「基本情報」「補足事項」「自薦書」「推薦状」「成績証明書(写)」「卒業見込証明書(写)」「応募者を良く知る者からの推薦書」「CBT共用試験の結果(スコア)(写)」
- 問い合わせ先** 慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター
mail: med-srk-center@adst.keio.ac.jp

※最新情報は、卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください

▶ <http://www.med.keio.ac.jp/sotsugo/syoki/admission/dentist.html>

